

医学部第2学年 別表(1)

	コース名 (コース責任者)	ブロック (ブロック責任者)	配点	ユニット (ユニット責任者)		コマ数等	時間数
前期	基礎医科学Ⅰ 生理学(生体調節機能学部門)	A 生化学	100	血液の生化学	生化学	4	30
				脂質の生化学	生化学	5	
				細胞内情報伝達	生化学	3	
				タンパク質特論	生化学	3	
		B 解剖学(顕微解剖学部門)	200	組織の構造と個体発生	解剖学(顕微解剖学部門)	15	50
				ヒトの時間生物学	解剖学(顕微解剖学部門)	10	
		C 解剖学(肉眼解剖学部門)	300	運動器系の解剖	解剖学(肉眼解剖学部門)	12	78
				神経系の解剖	解剖学(肉眼解剖学部門)	12	
				循環器系・呼吸器・泌尿器の解剖	解剖学(肉眼解剖学部門)	15	
		D 生理学(生体制御学部門)	200	神経・筋の生理	生理学(生体制御学部門)	12	56
				中枢神経の生理	生理学(生体制御学部門)	16	
		E 生理学(生体制御学部門)	100	感覚の生理	生理学(生体制御学部門)	13	26
	基礎医科学Ⅱ 微生物学	F 生理学(生体調節機能学部門)	200	血液・造血の生理	生理学(生体調節機能学部門)	5	44
				呼吸の生理	生理学(生体調節機能学部門)	8	
				体温の生理	生理学(生体調節機能学部門)	2	
				循環の生理	生理学(生体調節機能学部門)	7	
		G 生理学(生体調節機能学部門)	300	内分泌の生理	生理学(生体調節機能学部門)	6	62
				消化器の生理	生理学(生体調節機能学部門)	5	
				生殖器の生理	生理学(生体調節機能学部門)	3	
				代謝の生理	生理学(生体調節機能学部門)	3	
				腎・尿路の生理	生理学(生体調節機能学部門)	6	
				病態生理	生理学(生体調節機能学部門)	8	
		合否		生化学実習	生化学	※ 8	16
	医学総論Ⅰ 生理学(生体制御学部門)			English for Global Communication	英語	○ 8	16
				日本語対話法	生理学(生体制御学部門)	○ 8	16
				生命(いのち)の講座	生理学(生体制御学部門)	○ 7	14
				病院体験実習	解剖学(肉眼解剖学部門)	※ 23	46
	前期合計	7ブロック	1400			319	638
後期	基礎医科学Ⅱ 微生物学	H* 微生物学	200	免疫の働きを担う器官、細胞と分子	微生物学	12	42
				免疫の生理学的と病理学的役割	微生物学	9	
		I* 微生物学	200	細菌と真菌	微生物学	22	44
		J* 薬理学(臨床薬理学部門)	200	自律神経・神経筋接合部の薬理	薬理学(医科薬理学部門)	11	52
				生体と薬物	薬理学(臨床薬理学部門)	15	
		K* 解剖学(顕微解剖学部門)	200	消化器・生殖器の解剖	解剖学(顕微解剖学部門)	11	46
				リンパ・内分泌・感覚・外皮の解剖	解剖学(顕微解剖学部門)	12	
	臨床基礎医科学 臨床病理診断学	L 微生物学	200	寄生虫	微生物学	6	38
				ウイルス	微生物学	13	
		M 臨床病理診断学	200	病理病態総論Ⅰ	臨床病理診断学	16	32
		N 臨床病理診断学	200	病理病態総論Ⅱ	臨床病理診断学	16	32
		O 薬理学(医科薬理学部門)	200	循環・腎・呼吸・消化・脂質代謝の薬理	薬理学(臨床薬理学部門)	10	34
				中枢神経系の薬理	薬理学(医科薬理学部門)	7	
		P 臨床感染症学	200	感染症	臨床感染症学	20	40
	社会医学Ⅰ 衛生学公衆衛生学 (衛生学部門)	Q 衛生学公衆衛生学 (衛生学部門)	100	環境衛生	衛生学公衆衛生学(衛生学部門)	15	30
	臨床医学Ⅰ 外科学 (呼吸器外科学部門)	R 外科学 (呼吸器外科学部門)	100	外科学総論	外科学(呼吸器外科学部門)	14	28
		合否		肉眼解剖学実習	解剖学(肉眼解剖学部門)	※ 80	160
				組織学実習	解剖学(顕微解剖学部門)	※ 52	104
	後期合計	11ブロック	2000	*ブロックH, I, J, Kのコマ数・時間数の合計は前期合計に加算		249	498
	前後期合計	18ブロック	3400			568	1136
		必修ユニット数		38ユニット			※印は実習 ○印は演習
		実習ユニット数		4ユニット			
		演習ユニット数		3ユニット			
		合計ユニット数		45ユニット			

*ブロックH, IはブロックLと関連があることから、前期に授業を行い、後期定期試験で評価する。

*ブロックJはブロックOと関連があることから、前期に授業を行い、後期定期試験で評価する。

*ブロックKは組織学実習と関連があることから、前期に授業を行い、後期定期試験で評価する。

項 目	不合格ブロック・ ユニット数	合格基準点	判 定
定期試験	0	—	進級※
	1～7	—	再試験受験資格あり
	8以上	合格基準点総和(2,040点)以上	〃
		合格基準点総和(2,040点)未満	留年
再試験	0		進級※
	1以上		留年
演習・実習	0		進級※
	1以上		留年

※進級には演習及び実習を含む全てのユニットの合格が必要